

2023年度 日本工学院専門学校															
建築学科															
建築生産特論															
対象	3年次	開講期	前期	区分		選択	有	種別	職種	講義	60	時間数	60	単位	4
担当教員	赤石 辰夫			実務経験		有		職種	施工管理／一級建築施工管理技士						
担当教員紹介															
建設会社で現場監督として勤務し、2階建ての信用金庫支店から14階建ての高層住宅まで様々な施工管理を担当。また超高層RC造の技術開発にも参加し、日本建築センターの技術評定でも施工を担当した経験を持つ。															
授業概要															
この授業では教科書を利用した講義と国家試験同等の問題を中心に演習、解説を行うことで2級建築士同等レベルの実践的知識の習得を行う。同時に模擬試験を実施、試験合格を目指す															
到達目標															
この科目では、2級建築士試験と同等レベルの過去問題について70%以上の正解率をあげられることを最初の目標とし、それと同等の知識習得を目指し、学科試験に合格することを到達目標としている。															
授業方法															
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。															
成績評価方法															
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する													
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する													
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する													
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する													
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する													
履修上の注意															
<ul style="list-style-type: none"> 全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 授業中の私語や受講態度、および教室での飲食、器物損壊などには厳しく対処する。 課題の進捗状況に応じて、板書等で説明したり、資料を配布する。 															
教科書教材															
2020年度受験2級建築士講座テキスト 学科IV建築施工															
回数	授業計画														
第1回	腕試し試験 施工に関する理解度を把握する														
第2回	契約・施工計画・管理計画 建築工事の請負契約や工事の計画・管理について学ぶ														
第3回	模擬試験1 模擬試験を行い到達度を把握する														
第4回	各種計画・仮設工事 工程計画や安全計画や仮設計画について学ぶ														
第5回	模擬試験2 模擬試験を行い到達度を把握するとともに評価の一部とする														

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
建築生産特論	
第6回	鉄筋コンクリート工事 鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事について学ぶ
第7回	鉄骨工事・CB工事 鉄骨制作や建方工事、コンクリートブロックのメーソンリー工事について学ぶ
第8回	防水工事、屋根工事 防水・シーリング工事や、屋根葺き工事について学ぶ
第9回	左官工事、タイル・石工事 左官工事、タイル貼り付け工事、石取り付け工事について学ぶ
第10回	左官工事、タイル・石工事 左官工事、タイル貼り付け工事、石取り付け工事について学ぶ
第11回	仕上げ工事 建具工事、ガラス工事、塗装工事について学ぶ
第12回	内装工事・改修工事 下地工事、内装仕上げ工事、各種改修工事について学ぶ
第13回	設備工事・施工機械 空調設備工事、給排水設備工事、電気設備工事や各種建設機械について学ぶ
第14回	直前試験 国家試験と同等の試験により最終確認を行う
第15回	本試験の解説 本試験における難問題・新規問題を解説する